

サイバーセキュリティ関連情報（10月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課



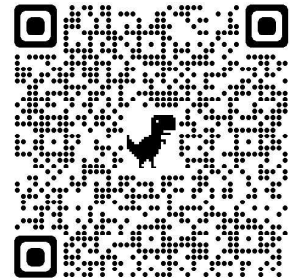
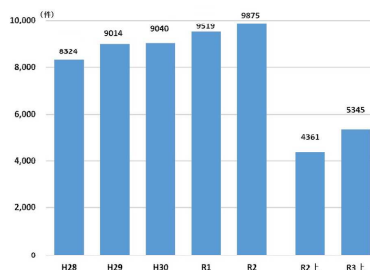
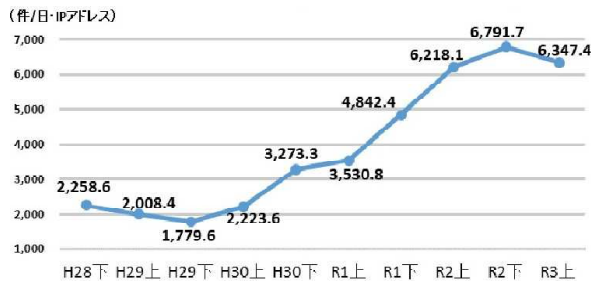
○ 令和3年上半期におけるサイバー空間の脅威情勢

警察庁は、令和3年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について広報資料を公開しました。概況として、ランサムウェアによる被害が増加し、サイバー攻撃による情報流出事案が多発しているほか、不正アクセス、インターネットバンキング不正送金事犯の発生件数も高水準で推移しているなど、極めて深刻な情勢が続いています。

サイバー攻撃が疑われる不審なアクセス件数は、令和2年上半期から連続で1日平均6,000件を超えており、IoT機器の普及やテレワーク環境におけるサービスのぜい弱性を攻撃者が悪用していることなどが背景にあるとみられています。

また、全国の警察が摘発したサイバー犯罪の検挙件数は、5,345件で、前年同期から、984件増加しており、過去最多を更新した昨年を上回るペースで推移しています。

令和3年9月1日、政府は国全体のデジタル化を主導するデジタル庁を発足させ始動しているところですが、警察庁ではサイバー事案への対処能力等を強化するため、令和4年度にサイバー局を設置し、直接捜査を行うサイバー隊を設置する組織改正を検討しており、これまで以上にサイバー空間の安全安心の確保に努めていくとしています。



【不審なアクセスの観測件数】

【サイバー犯罪の検挙件数】

出典 警察庁 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/RO3_kami_cyber_jousei.pdf

○ ワクチン接種便乗のフィッシングに注意！

フィッシング対策協議会は、厚生労働省を装い、ワクチン接種の予約サイトに見せかけた偽サイトに誘導し、個人情報のだまし取るフィッシング攻撃が確認されているとして注意を呼び掛けています。

今回、新たに確認されたものは、「新冠ワクチン接種のお知らせ」という件名のフィッシングメールを送り付け、本文中の『予約する』というリンクボタンを押さえることで、偽の「コロナワクチンナビ」というフィッシングサイトに誘導し、住所、氏名、電話番号、メールアドレス、クレジットカード情報等の入力を要求するものです。

これらの情報を入力してしまうと、名義人になりすまし、高額商品やギフトカード等が購入されてしまったり、迷惑メールが大量に入ってくる等の被害にあってしまいます。

新型コロナウイルス関連に便乗したフィッシング、特に厚生労働省を装う手口については、前回の9月号でも注意喚起しましたとおり、令和3年8月、9月と連続で発生しています。また、9月中には、ヨドバシカメラ、イオンカード、NTTドコモ等を装って個人情報のだまし取るフィッシングも同時に確認されています。

これらは、本物のサイトの画面をコピーして忠実に模倣された偽サイトであることが多く、実在するシンボルマークが入っているなど見分けることは非常に困難です。

今後も引き続き、本物のサイトを模倣した様々な類似のフィッシングサイトが公開される可能性がありますので、くれぐれもご注意下さい。



出典 フィッシング対策協議会 https://www.antiphishing.jp/news/alert/mhlw_20210915.html